

食物負荷試験を受けられる患者さんへ

患者1


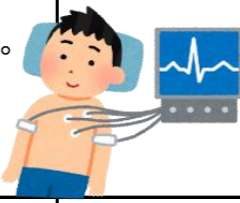






主治医:

担当医:

フリガナ:

患者名:

受持看護師:

	検査前			検査中			検査後			退院日
	検査前	検査中	検査後	検査前	検査中	検査後	検査前	検査中	検査後	
目標	治療について理解できる バイタルサイン(体温、血圧、脈拍等)が安定している アレルギー症状・所見がない									バイタルサイン(体温、血圧、脈拍等)が安定している 日常生活の注意点について理解できる
検温	検査前に測定します。 	食物負荷試験中は検査する食品を食べてから、 30分後、60分後、90分後、120分後、210分後 に測定します。 ※状態に変化がある場合、上記以外にも適宜行う こともあります。	夕1回測定します。 ※状態に応じて適宜検温を行うこともあります。							朝1回測定します。
検査	血液検査があります。 血液検査は点滴をとる時に同時に行います。	心電図モニター(心拍数を測定する)・SpO2モニター(体中の酸素の値を測定する)をつけます。 異常がなければ検査終了後にモニターを外します。 ※状態に応じてモニターを継続することもあります。								
点滴	アレルギー症状が起こった時のために点滴をとります。				20時に点滴内で血液が固まらないようにお薬 (ヘパリン)を入れます。			医師の診察後、点滴を抜きます。		
飲食	医師の指示に従ってください。 ※入院中は病院でだされる病院食以外は食べないように して下さい。	検査中は水のみ飲んでかまいません。			検査後、病院食をお持ちします。 			病院食をお持ちします。 		
安静度	病棟内(プレイルームまで)です。 検査までにお手洗い(オムツ交換)を済ましておいて下さい。	検査中は処置室で過ごします。 DVDを持ってきてみたり 本を読んで過ごしてもかまいません。			異常がなく、医師の許可があれば、お部屋に帰 れます。			制限はありません。 		
清潔				医師の許可があれば、シャワー浴ができます。 点滴のところは、看護師がぬれないように保護し ますので、お声がけ下さい。 病気の治療のために軟膏をぬっている方は医師 の許可があればぬって下さい。			制限はありません。			
説明	パンフレットに沿って入院生活及び病棟の案内をします。 入院診療計画書にサインを記入し看護師に渡して下さい。				適宜、看護師より日常生活のお話 がある場合があります。			医師から退院後の生活について説明を行います。		
その他	身長、体重を測定します。 患者確認のためにリストバンドをつけます。 もし内服薬をお持ちでしたら、看護師にお渡し下さい。 	息が苦しくなったり、のどや体がかゆくなったり、じんましんがでる、お腹が痛くなる、気持ち悪くなる、 嘔吐がある、顔色が悪い、機嫌が悪い等の症状がでた場合はすぐに看護師にお伝えください。 ※お部屋に帰ってからそのような症状がでた時にはすぐにナースコールをおして下さい。						医師の診察後、退院になります。 